中富公一教授略歴

二〇〇六年四月一日	二〇〇二年四月一日	一九九九年四月一日	一九九五年六月一日	一九九四年九月一日	一九九二年五月一日	一九八七年四月一日	一九八六年四月一日	一九八五年四月一日	一九八三年四月一日	一九八三年三月三一日	一九七九年四月一日	一九七九年三月三一日	一九七六年四月一日	一九七六年三月三一日	一九七二年四月一日	一九五三年一二月二二日
岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	岡山大学法学部教授	大学入試センター「現代社会」作問委員(二〇〇一年三月まで)	ドイツ・フライブルグ大学にて在外研究(同年九月まで)	岡山大学法学部助教授	岡山大学教養部助教授	高知大学教育学部助教授	高知大学教育学部講師	名古屋大学大学院法学研究科研究生	名古屋大学法学部助手	名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学	名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程入学	名古屋大学大学院法学研究科博士前期課程修了(法学修士)	名古屋大学大学院法学研究科博士前期課程入学	名古屋大学法学部卒業	名古屋大学法学部入学	福岡県久留米市に生まれる

 \equiv

〇一五年九月一日 岡	〇一一年四月一日 岡	=	1〇〇八年一〇月一日 吃	〇〇六年六月一日 カ	
『山県消費生活センター幼小中高向け消費者教育プログラム開発事業のための研	『山大学大学院社会文化科学研究科副研究科長(二〇一三年三月まで)	三月まで)	広島修道大学法務研究科非常勤講師「特殊講義・憲法訴訟」担当(二〇一三年	カリフォルニア大学バークレー校ロースクール客員研究員(同年一一月まで)	

六五四

二〇一八年二月一日 二〇一八年一〇月一日 二〇一八年七月一日 岡山県行政不服審査会委員 岡山県建設工事紛争審査会委員

究会委員(二〇一八年三月まで)

岡山大学大学院社会文化科学研究科副研究科長(二〇一九年三月まで)

岡山大学退職

二〇一九年三月三一日

主要業績目録

『宇宙をなっていごめこV)というための本種・共著書	日本平倫士	二 三 五 手	ī.]
― 憲法から考える』(単著)			
『ザ・象徴天皇制』(倉持孝司・中富公一・水島	法学セミナー増刊	一九八九年	七月
朝穂著)(共著)			
『それぞれの人権』(憲法教育研究会編)(共著)	法律文化社	一九九六年	五月
『それぞれの人権 第二版』(憲法教育研究会編)	法律文化社	二〇〇二年	二月
(共著)			
『憲法とそれぞれの人権』 (現代憲法教育研究会	法律文化社	二〇一〇年	三月
編)(共著)			
『憲法とそれぞれの人権 第二版』(現代憲法教	法律文化社	二〇一四年	四月
育研究会編)(共著)			
『憲法とそれぞれの人権 第三版』(現代憲法教	法律文化社	二〇一七年	九月
育研究会編)(共著)			
『現代憲法講義 二』(浦部法穂ほか編)(分担	法律文化社	一九八九年	三月
執筆)			
『憲法論点セミナー』(小林孝輔・越路正巳編)	辛夷社	一九九一年	三月

第八巻)(分担執筆)『憲法基礎理論の再検討』(憲法理論研究会編・編)(分担執筆)	『男と女の過去と未来』(倉地克直・沢山美果子彦編)(分担執筆)	『新判例マニュアル憲法Ⅱ』(杉原泰雄・野中俊彦編)(分担執筆)	『新判例マニュアル憲法I』(杉原泰雄・野中俊(分担執筆)	『基本判例1 憲法』(右崎正博・浦田一郎編)辺治・水島朝穂編)(分担執筆)	『グローバル安保体制が動き出す』(森英樹・渡担執筆)	V)	試験シリーズ第三版(岩間昭道・戸波江二編)『憲法Ⅱ 基本的人権』別冊法学セミナー司法樹編)(分担執筆)	『政党国庫補助の比較憲法的総合的研究』(森英と法研究会編)(分担執筆)	『もう一つの地球のまもりかた ― きみはサン
敬文堂	世界思想社	二省堂	二二省堂	法学書院	日本評論社	日本評論社	日本評論社	柏書房	日本評論社
二〇〇〇年一〇月	二〇〇〇年一〇月	二〇〇〇年 九月	二〇〇〇年 九月	一九九九年 五月	一九九八年一二月	一九九七年 五月	一九九四年 五月	一九九四年 二月	一九九二年一一月

二〇一四年一二月	法律時報増刊	『改憲を問う』(民科法律部会編)(分担執筆)一郎編)(分担執筆)
二〇一四年 五月	法学書院	『基本判例1 憲法 第四版』(右崎正博·浦田(杉原泰男·樋口陽一·森英樹編)(分担執筆)
二〇一二年 五月	日本評論社	『長谷川正安先生追悼論集 戦後法学と憲法』一九巻) (分担執筆)
二〇一一年一〇月	敬文堂	『政治変動と憲法理論』(憲法理論研究会編・第一郎編)(分担執筆)
二〇〇九年一〇月	法学書院	『基本判例1 憲法 第三版』(右崎正博・浦田ふまえて』(森英樹編)(分担執筆)
二〇〇九年 二月	日本評論社	『現代憲法における安全 比較憲法学的研究を
二〇〇八年 四月	法律時報増刊	『改憲・改革と法』(民科法律部会編)(分担執筆)子編)(分担執筆)
二〇〇八年 四月	世界思想社	『働くこととジェンダー』(倉地克直、沢山美果
二〇〇五年 五月	法律時報増刊	『憲法改正問題』(全国憲法研究会編)(分担執筆)一郎編)(分担執筆)
二〇〇四年 四月	法学書院	『基本判例1 憲法 第二版』(右崎正博・浦田担執筆)
二〇〇三年 三月	信 有山 港 閣	『憲法答弁集』(浅野一郎・杉原泰雄監修)(分『新しい公共性』(山口定ほか編)(分担執筆)
二〇〇三年 二月	日本評論社	をふまえて』(森英樹編)(分担執筆)『市民的公共圏形成の可能性』比較憲法的研究

					論
(一)」 「沖縄住民投票に関する憲法社会学的考察序説憲法上の諸問題」	「大田知事による海上基地拒否表明が提起する「新法解説 政治改革法」討」	— E・フォルストホッフの現代国家分析の検「社会国家の理論から産業社会の国家の理論へ性格論を手がかりとして」	「政党の病理と政党への国庫補助 ― 政党の公的「戦後憲法史研究の視角と憲法学の課題」ル・シュミット論』の批判的検討をとおして」と議会主義 ― J・W・ベンダースキー著『カーと議会主義 ― J・W・ベンダースキー著『カー	「C・シュミット理論における憲法制定権力論配慮概念の提唱まで ― 」	説(分担執筆)(分担執筆)(元本勝監修)
岡山大学法学会雑誌四八卷一号	法学セミナー四三巻八号法学教室一六六号	名古屋大学法政論集一四九号	法律時報六四巻二号法の科学一四号	法律時報五七巻八号	岡山大学出版会
一九九八年 九月	一九九八年 八月	一九九三年 九月	一九八六年一〇月	一九八三年 三月	二〇一五年九月

の比較法的検討を通して ― 」

「国立大学法人化と大学の自治の再構築 ― 日米	訟を素材として―」	の学長任命権 ― 高知大学学長任命処分取消訴	「国立大学法人による学長選考と文部科学大臣	「学長、学部長人事と大学の自治」	検討を中心に ― 」	「学長選考会議の構造と役割 — 岡山大学方式の	学と新潟大学の事例を素材として ― 」	「大学の自治の再構築と学長選考制度 ― 岡山大	全再構築のために — 」	「いじめ概念の憲法学的検討 ― 児童・生徒の安	「憲法調査会にみる憲法九条改正論の諸類型」	「沖縄県民投票と日本の民主主義」	(四・完)」	「沖縄住民投票に関する憲法社会学的考察序説	「地域の公共的意思形成と国家意思形成」	「環境権の憲法的位置づけ」	(111) 📙	「沖縄住民投票に関する憲法社会学的考察序説	(11)	「沖縄住民投票に関する憲法社会学的考察序説
立命館法学三三三:三三四号			岡山大学法学会雑誌六〇巻一号	全大教時報三一卷六号		全大教時報三一卷五号		岡山大学法学会雑誌五六卷三·四号		名古屋大学法政論集二一三号	人権21(おかやま人権研究センター)	法の科学三一号		岡山大学法学会雑誌五〇巻二号	法の科学二八号	憲法の争点第三版(ジュリスト増刊)		岡山大学法学会雑誌四九巻一号		岡山大学法学会雑誌四八巻二号
二〇一一年 三月			二〇一〇年 八月	二〇〇八年 二月		二〇〇七年一二月		二〇〇七年 三月		二〇〇六年 九月	二〇〇三年一二月	二〇〇一年 九月		二〇〇一年 三月	一九九九年 七月	一九九九年 六月		一九九九年 一月		一九九八年一二月

「生徒の人権と学校の責任 ― いわき市『いじめ』	ス疑惑報道と人権」 「刑事被告人のプライバシーと報道の自由―ロの違憲性と事情判決」	「一九九〇年総選挙における議員定数配分規定判例評釈	「講座会議は教員の成績評価権を制約できるか」	「憲法からみた戦後七一年目の転換点(下)」	「憲法からみた戦後七一年目の転換点(上)」	「現在の大学政策と学問の自由・大学の自治」討 ― 」	「いじめと学校の責務 ― 事例を想定しての検	「「国の要請」と大学の自治」 ― 米、豪との比較公法的検討 ― 」	「グローバリゼーションと大学自治の構造転換― 有機的統一体論を中心に ― 」	「国公法二事件最高裁判決は何を変更したのかを読む―」	「憲法九六条改正の狙い ― 自民党改憲草案前文
法学セミナー三七巻五号	法学セミナー三七巻四号	法学セミナー三七巻三号		人権21(おかやま人権研究センター)	人権21(おかやま人権研究センター)	法と民主主義・五〇九号	岡山大学法学会雑誌六五巻三/四号	全大教時報臨時増刊号	岡山大学法学会雑誌六四号一号	岡山大学法学会雑誌六三巻四号	人権21(おかやま人権研究センター)
一九九二年 五月	一九九二年 四月	一九九二年 三月		二〇一六年 八月	二〇一六年 六月	二〇一六年 六月	二〇一六年 三月	二〇一五年 九月	二〇一四年 九月	二〇一四年 三月	二〇一三年 八月

「本地の騒音公害と人格権 ― 厚木基地公害訴訟」「基地の騒音公害と人格権 ― 厚木基地公害訴訟」「基地の騒音公害と人格権 ― 厚木基地公害訴訟」「東京都知事交際費開示請求と個人情報」	の違法性と合憲的限定解釈」「個人鑑賞のための猥褻表現物輸入行為の処罰用負担義務」	「未決拘禁者の図書関読の自由と外国語翻訳費条の自由」	「税理士会の政治献金の合法性と会員の思想信「反論文掲載請求と言論の自由」性」	「取材のための接見を不許可とした処分の違法合憲性」	「身体的障害を理由とする入学差別の違憲性」とする懲戒解雇」	「残業についての考え方を改めないことを理由「選挙の公正と投票の秘密」
別冊ジュリスト憲法判例百選Ⅰ[第六版]別冊ジュリスト憲法判例百選Ⅰ[第五版]別冊ジュリスト憲法判例百選Ⅰ[第四版]別冊ジュリスト憲法判例百選Ⅰ[第三版]	法学セミナー三八巻二号	法学セミナー三八巻一号	法学セミナー三七巻一二号法学セミナー三七巻一一号	法学セミナー三七巻一○号法学セミナー三七巻九号	法学セミナー三七巻八号	法学セミナー三七巻七号法学セミナー三七巻六号
一九九四年 一九九四年 二○○○年 七月 二○○七年 二月	一九九三年 二月	一九九三年 一月	一九九二年一二月	一九九二年一〇月	一九九二年 八月	一九九二年 七月

翻

4
ハ
ハ
_

沢		
エルンスト・フォルストホッフ「社会国家の憲	名古屋大学法政論集九八号	一九八三年一一月
法問題」		
エルンスト・フォルストホッフ「社会的法治国	名古屋大学法政論集一〇三号	一九八五年 三月
家の概念と本質」		
エルンスト・フォルストホッフ「現代民主主義	高知大学教育学部研究報告第二部四〇号	一九八八年
の構造転換」		
エルンスト・フォルストホッフ「憲法学の今日	名古屋大学法政論集一三五号	一九九一年 一月
的状況について」		
評・書評・その他		
書評/マルティン・クッチャ「今日の社会国家	法律時報五五巻九号	一九八三年 九月
理解について」		
「西ドイツ政党国家」	法と民主主義一九七号	一九八五年 五月
「国会議員と政党」	法学セミナー三四巻一一号	一九八九年一一月
「西ドイツの選挙制度と政党制」	月刊憲法運動一八三号	一九八九年一一月
書評/堀内健志『ドイツ「法律」概念の研究序	小林孝輔編『ドイツ公法の理論』一粒社	一九九二年一二月
説』(多賀出版・一九八四年)		
「低投票率への憲法学からの処方箋」	法学セミナー四二巻五号	一九九七年 五月
「新ガイドライン問題と普天間『返還』問題」	部落問題・調査と研究一三三号	一九九八年 六月
「国会審議から見た『周辺事態法』の問題点」	部落問題調査と研究一三九号	一九九九年 四月
「有事法制の入口と出口」	法学セミナー四七巻八号	二〇〇二年 八月

分に対する損害賠償請求事件」「国歌斉唱時不起立を理由とする再雇用拒否処(平成二二)年一二月一〇日判決集未登載)」	「学長任命処分取消請求事件(高知地判二〇一〇「いじめの憲法学」「沖縄住民投票が提起した憲法上の諸問題」	学会等研究報告など	制約できるか」鑑定意見書/「講座会議は教員の成績評価権を業パック」		「憲法とは何か、私たちのくらしや労働にどう「権威、権力、権利」	書評/小沢隆一・榊原秀訓『安倍改憲と自治体一鑑定意見書/「高知大学学長任命処分取消訴訟」員組合の試み ― 」(中富・小畑・榊原・矢田)	共著「新しい組合像を模索して ― 岡山大学職「沖縄・日本と九条」
岡山公法判例研究会	周山公法判例研究会 憲法理論研究会夏季合宿研究会 憲法理論研究会夏季合宿研究会	平凡社『大学辞典』	広島高裁に提出	岡山県消費生活センター発行	全大教時報四一巻六号法学セミナー六〇巻六号	住民と自治二〇一四年八月号高知地裁に提出	全大教時報二八巻三号法と民主主義三九〇号
二〇一二年 四月	二〇一〇年 八月	二〇一八年 五月	二〇一八年 三月		八五年年	二〇一〇年 五月	二〇〇四年 八月

「安倍政治の大学政策と学問の自由」「学問の自由、大学の自治の原点と現点」のかー」	「天皇、家疾、土尽 ― 日本国愚去よ可と変えて「安倍政権の大学政策と憲法二三条」	招待講演/「大学自治の再構築かそれとも破壊か」守るために必要なこと」	「憲法からいじめ問題を考える ― 子どもたちを「憲法の基本問題」	「教育を受ける権利と教育委員会制度改革」	「自民党改憲草案前文を読む」判決を読む ― 」	「判例は変更されたのか ― 国公法二事件最高裁	「教育委員会改革議論の動向について」二〇一二年一二月七日判決を読む」	「公務員の政治活動の自由 ― 堀越事件最高裁形態』へ」	「長谷川正安「『憲法学の方法』から『法の現象制度改革 ― 大阪府教育行政基本条例の検討 ― 」	「教育委員会の憲法的地位と自治体による教育育基本条例を素材として ―」	「中央政府の役割と地方議会の役割 ― 大阪府教
科学者会議第二二回総合学術研究集会全国憲法研究会春期研究集会	「書国己念日」と考える岡山書号のつど、科学者会議第二一回総合学術研究集会	教育法学会演会	神奈川県青少年センター主催平成二七年度講岡山県議会公共政策セミナー	科学者会議第二○回総合学術研究集会	岡山公法判例研究会	民科法律部会学術総会	岡山県議会公共政策セミナー	岡山公法判例研究会	民科法律部会春合宿研究会	民科法律部会夏合宿研究会	岡山県議会公共政策セミナー
二〇一八年 五月	八六年年	二〇一六年 五月	二〇一五年一一月	四年	二〇一四年 三月	二〇一三年一一月	二〇一三年 九月	二〇一三年 三月	二〇一三年 三月	二〇一二年 九月	二〇一二年 三月

六六五